

■上山草人 転変の後、ハリウッドの怪優となり、無声映画黄金期の一端を担うが、トーキー化で不遇に。

かみやまそうじん

秩父事件・・・1884＝ 宮城県北部の涌谷町で、仙台でも有名だった医者上山五郎の愛人の子に生まれ、

乳母や親戚の家を転々として育てられた後、

帝国憲法発布1889＝ 5歳：

郡司千島探検1893＝ 9歳：

日清戦争始・・・1894＝10歳：

句作に励み漢詩に通じる趣味人で名士でもあった父に、週末ごとに郊外の別荘に連れられ、

自らも句作するようになる。

教科書疑獄・・・1902＝18歳： 早稲田大学入学とともに、父が親交していた犬養毅邸に寄宿すると、芝居にのめり込むようになり、

日露戦争終・・・1905＝21歳： 全盛だった新派の俳優藤沢浅二郎に入門し、「金色夜叉」の夜叉役で俳優デビューするが、
テニスを通じ犬養の娘と恋愛に陥り、娘が座敷牢に閉じ込められたため、近くの寺に移り住む。

アヲキ創刊・・・1908＝24歳： やがて娘の同級生三田千枝と付き合い、千枝も演劇を志すようになって、
犬養の媒酌で結婚して、三田家の養子貞となり、早稲田大学を中退、新橋駅近くの新居で化粧品販売して生活費を稼ぎ、藤沢が設立した東京俳優養成所を経て、

伊藤博文暗殺1909＝25歳： 松井須磨子と同期で、坪内逍遙の文芸協会演劇研究所に参加、千枝も入所して二人で演劇活動を始める。

大逆事件判決1911＝27歳：

明治天皇没・・・1912＝28歳： 劇作家の伊庭孝らと(近代演劇協会)を立ち上げ、芸名を上山草人と名乗り、千枝は山川浦路となる。何とかイブセンの劇で初公演にこぎつけ、トチリばなしながら大入りで、小山内薫の眉をひそめさせるも、

第一次大戦始1914＝30歳：

21ヶ条要求・・・1915＝31歳：

朝鮮・中国・満州・台湾にも巡業するなどして、
この年、早川雪洲がハリウッド映画界にデビュー、

島村抱月・須磨子の芸術座に対抗、大戦景気もあって新劇の黄金時代を演出するが、

やがて凋落、公演を続ければ借金が増大する事態となり、進歩的総合雑誌(中外)の内藤民治に勧められ、

自伝小説「蛇酒」「煉獄」を発表し、

*外遊記念公演をもって(近代演劇協会)を解散、二人で渡米する。早川雪洲の豪邸で豪華な接待を受け、

日系人の要望に応え、「復活」「ラマダ」など得意の演劇を公演して大盛況となり、各地巡業するも限界で、

本格政党内閣1918＝34歳：

ベルサイユ条約・・・1919＝35歳：

大暴落・・・1920＝36歳：

原敬首相暗殺1921＝37歳：

水平社結成・・・1922＝38歳：

関東大震災・・・1923＝39歳：

この年、早川雪洲が日本に帰国。サンフランシスコで在米邦人向けの新聞(東西時報)を創刊したが、
廃刊に追い込まれ、ロサンゼルスに戻ると、滞在中の(キネマ旬報)主筆田村幸彦から、主演のフェアバンクスが東洋人役者を探していると聞いて応募、堂々たる主張をして待遇は一変、豊かな生活となって日本から長男も呼び寄せ、マネージャー役の妻を介して売込み、遂に準主役のモンゴル王子の役を勝ち取り、

護憲三派圧勝1924＝40歳：

*「バグダッドの盗賊」でハリウッド映画に華々しくデビュー、至福の時が訪れた。

以後、次々と出演依頼があり、代表作「海の野獣」に観客が殺到するなどしたが、

6年間に47本出演という実績を残すも、トーキー時代の幕開けとともに、注文が激減し、

世界恐慌・・・1929＝45歳：

*{(松竹)から招聘されたのを機に、帰国。}「草人フィーバー」が巻き起こるものの、

海軍軍縮条約1930＝46歳：

20年ぶりに帰郷して故郷に錦を飾るなどした後、

満州事変・・・1931＝47歳：

{松竹蒲田}に入社し、日米をまたにかける「愛よ人類と共にあれ」に主演、一時渡米したのを最後にアメリカから遠ざかり、

芥川直木賞始1935＝51歳： ソビエト映画祭に出席、

日中戦争始・・・1937＝53歳：

健保+総動員 1938＝54歳：

日米開戦・・・1941＝57歳： 日米開戦とともに、ハリウッドを根城にする日本人俳優は強制収容所入りとなり、

かつてハリウッドの俳優だった草人もすっかり忘れ去られて行き、

敗戦・・・1945＝61歳：

新憲法施行・・・1947＝63歳： 妻浦路がロサンゼルスで死去。

独立回復・・・1951＝67歳：

自衛隊発足・・・1954＝70歳： 「七人の侍」「宮本武蔵」に出演、その封切りを待たずに、腸閉塞で没した。

産経「日本人の足跡3」、